



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 トナミホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9070 URL <http://www.tonamiholdings.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 綿貴 勝介  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 輪達 光春 (TEL) 0766-32-1073  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	90,695	3.2	2,461	△2.8	2,643	△4.0	1,733	4.1
25年3月期第3四半期	87,843	△2.1	2,530	91.2	2,753	86.2	1,666	110.3

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 1,987百万円( 21.2%) 25年3月期第3四半期 1,639百万円( 23.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	19.10	—
25年3月期第3四半期	18.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	117,489	49,264	41.8
25年3月期	117,189	47,643	40.6

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 49,063百万円 25年3月期 47,535百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	2.00	—	3.00	5.00
26年3月期	—	2.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成25年3月期期末配当金の内訳 普通配当 2円00銭 記念配当 1円00銭

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	116,900	0.9	3,000	8.4	3,300	8.2	1,890	5.9	20.8

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	97,610,118株	25年3月期	97,610,118株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	6,867,932株	25年3月期	6,857,237株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	90,750,660株	25年3月期3Q	90,761,014株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10
事業別営業収益明細表	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年12月31日、以下「当第3四半期」という。)におけるわが国の経済は、政府による経済政策や日銀の金融緩和策などによる円安・株価上昇、個人消費の一部改善や輸出環境の持ち直しなどを受けて緩やかに回復しているものと見られます。

物流業界におきましても、堅調な個人消費により消費関連貨物が伸張し、消費税増税前の駆け込み需要、公共投資の増加などにより建設関連貨物が好調に推移しております。

一方で、燃料価格の高止まりや、トラックドライバー不足、輸送用車両の不足の深刻化に伴う外注費の上昇などもあり、厳しい経営環境が続いております。

このような状況下、当社グループの当第3四半期の経営成績は、貨物自動車運送事業及び貨物利用運送事業の安定的収益確保、重点とする3PL(サードパーティ・ロジスティクス)事業をはじめとする関連事業の拡大につとめました結果、営業収益は90,695百万円と、前年同四半期に比べ2,852百万円(3.2%)の増収となりました。

また、利益面におきましては、物量増加による営業収益の拡大及び平成24年4月からスタートいたしました「中期経営3ヶ年計画」における「事業構造改革」の推進、運賃・料金単価の改善により収益力向上に寄与しましたものの、燃料価格の上昇、物量増加に対応するための体制整備・輸送品質の維持・向上への取り組み費用の増加などもあり、営業利益は2,461百万円と前年同四半期に比べ69百万円(2.8%)の減益となりました。

経常利益は2,643百万円を計上し、前年同四半期に比べ110百万円(4.0%)の減益となりました。

四半期純利益は1,733百万円で、前年同四半期に比べ67百万円(4.1%)の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、以下におけるセグメント利益は営業利益ベースの数値であります。

## ①物流関連事業

当第3四半期における物流関連事業は、貨物自動車運送事業及び貨物利用運送事業、3PL事業における既存顧客の受諾業務の拡大および新設拠点における新規顧客の開拓等による物量増が寄与しました結果、営業収益は82,953百万円と前年同四半期に比べ2,715百万円(3.4%)の増収となりました。

セグメント利益は、営業収益の拡大及び「事業構造改革」の進展が寄与しましたものの、燃料費負担の増加、戦力不足による外注費の増加などのコストアップ要因もあって1,941百万円を計上するにとどまり、前年同四半期に比べ47百万円(2.4%)の減益となりました。

## ②情報処理事業

情報処理事業における営業収益は、新規・既存顧客の業容拡大もあって2,009百万円となり、前年同四半期に比べ246百万円(14.0%)の増収となりました。

セグメント利益は142百万円で、前年同四半期に比べ8百万円(6.5%)の増益となりました。

## ③販売事業

物品販売ならびに委託売買業、損害保険代理業等の販売事業における営業収益は5,177百万円となり、前年同四半期に比べ68百万円(1.3%)の減収となりました。

セグメント利益は306百万円で、前年同四半期に比べ73百万円(31.3%)の増益となりました。

その他では、自動車修理業、ダイレクトメール業等で営業収益555百万円を計上しましたが、前年同四半期に比べ40百万円(6.8%)の減収となりました。

セグメント利益は60百万円で、前年同四半期に比べ47百万円(43.7%)の減益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

総資産は117,489百万円となり、前連結会計年度に比べ299百万円(0.3%)増加しました。これは主として流動資産で営業未収入金が875百万円増加した一方で、固定資産で建物及び構築物(純額)が576百万円減少したことなどによります。

負債は68,225百万円となり、前連結会計年度に比べ1,320百万円(1.9%)減少しました。これは主として流動負債で1年以内償還予定の社債が3,000百万円、賞与引当金が554百万円、固定負債で長期借入金1,236百万円それぞれ減少した一方で、短期借入金3,837百万円増加したことなどによります。

純資産は49,264百万円となり、前連結会計年度に比べ1,620百万円(3.4%)増加しました。これは主として四半期純利益を計上するなどして利益剰余金が1,279百万円増加したことなどによります。

以上により、自己資本比率は前連結会計年度の40.6%から41.8%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

国内経済は、これまで消費税増税前の駆け込み需要や公共投資、企業の設備投資などの内需に支えられ緩やかに回復してまいりましたが、本年4月以降は消費税増税後の景気減速懸念、原油等の価格上昇など不透明な経営環境が続くと思われまます。

このような経営環境の変化に対応し、当社グループは「中期経営3ヶ年計画」の2年目を総括し、最終年度に向けて重点取組骨子のひとつでもある「事業構造改革」の一層の進展をはかり、経営基盤の強化につとめてまいります。

また、重点とする3PL事業を中心に、荷主企業の物流コスト低減ニーズにこたえるための提案力を高めて新規受託に向けた積極的な営業展開をはかるとともに、既存の物流センターにおける一層の業務効率化を推進してまいります。

現状、当社グループの第3四半期の業績は概ね当初計画に沿って進展しており、通期の業績について、現時点では平成25年11月8日に公表しました数値に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,701	9,516
受取手形	3,349	3,564
営業未収入金	16,842	17,718
たな卸資産	546	808
繰延税金資産	527	310
その他	2,636	2,348
貸倒引当金	△65	△60
流動資産合計	33,538	34,206
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,684	21,108
機械装置及び運搬具(純額)	2,130	2,089
土地	41,085	41,136
その他(純額)	6,955	6,864
有形固定資産合計	71,856	71,198
無形固定資産		
のれん	19	19
その他	748	746
無形固定資産合計	768	766
投資その他の資産		
投資有価証券	6,551	7,015
破産更生債権等	161	186
その他	4,707	4,687
貸倒引当金	△392	△572
投資その他の資産合計	11,026	11,317
固定資産合計	83,651	83,282
資産合計	117,189	117,489

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	936	949
営業未払金	10,405	10,683
短期借入金	10,390	14,227
1年内返済予定の長期借入金	3,104	3,537
1年内償還予定の社債	3,000	—
未払法人税等	607	262
未払消費税等	491	453
賞与引当金	809	254
その他	6,535	6,556
流動負債合計	36,279	36,925
固定負債		
社債	5,000	5,000
長期借入金	4,480	3,244
繰延税金負債	317	617
再評価に係る繰延税金負債	4,694	4,694
退職給付引当金	12,817	12,392
役員退職慰労引当金	117	107
負ののれん	153	95
その他	5,685	5,147
固定負債合計	33,266	31,299
負債合計	69,546	68,225
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,182	14,182
資本剰余金	11,682	11,682
利益剰余金	16,516	17,796
自己株式	△2,018	△2,020
株主資本合計	40,363	41,640
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	846	1,096
土地再評価差額金	6,326	6,326
その他の包括利益累計額合計	7,172	7,422
少数株主持分	107	200
純資産合計	47,643	49,264
負債純資産合計	117,189	117,489



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業収益	87,843	90,695
営業原価	80,676	83,514
営業総利益	7,166	7,180
販売費及び一般管理費	4,635	4,719
営業利益	2,530	2,461
営業外収益		
受取利息	163	131
受取配当金	96	104
受取家賃	104	73
負ののれん償却額	57	57
持分法による投資利益	51	53
その他	188	148
営業外収益合計	661	569
営業外費用		
支払利息	366	285
その他	72	101
営業外費用合計	438	386
経常利益	2,753	2,643
特別利益		
固定資産売却益	310	179
賃貸借契約解約益	—	87
受取保険金	57	—
その他	71	7
特別利益合計	438	275
特別損失		
固定資産売却損	7	12
固定資産除却損	54	54
投資有価証券評価損	9	1
ゴルフ会員権評価損	—	18
災害による損失	44	12
和解金	111	—
その他	32	28
特別損失合計	259	127
税金等調整前四半期純利益	2,932	2,791
法人税、住民税及び事業税	689	673
過年度法人税等	112	—
法人税等調整額	442	380
法人税等合計	1,243	1,053
少数株主損益調整前四半期純利益	1,689	1,737
少数株主利益	23	3
四半期純利益	1,666	1,733

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,689	1,737
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△48	249
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	0
その他の包括利益合計	△50	250
四半期包括利益	1,639	1,987
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,616	1,983
少数株主に係る四半期包括利益	22	3

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 注1	合計	調整額 注2	四半期連結 損益計算書 計上額 注3
	物流関連 事業	情報処理 事業	販売 事業	計				
営業収益								
外部顧客に対する営業収益	80,238	1,763	5,245	87,247	595	87,843	—	87,843
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	28	200	3,714	3,943	625	4,568	△4,568	—
計	80,267	1,963	8,959	91,190	1,221	92,411	△4,568	87,843
セグメント利益	1,989	133	233	2,356	107	2,464	66	2,530

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車修理業、ダイレクトメール業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額66百万円にはセグメント間消去533百万円と各報告セグメントに配分していない全社費用△466百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない財務諸表提出会社の費用です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 注1	合計	調整額 注2	四半期連結 損益計算書 計上額 注3
	物流関連 事業	情報処理 事業	販売 事業	計				
営業収益								
外部顧客に対する営業収益	82,953	2,009	5,177	90,140	555	90,695	—	90,695
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	26	212	3,872	4,111	554	4,666	△4,666	—
計	82,980	2,222	9,049	94,252	1,109	95,362	△4,666	90,695
セグメント利益	1,941	142	306	2,390	60	2,451	10	2,461

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車修理業、ダイレクトメール業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額10百万円にはセグメント間消去542百万円と各報告セグメントに配分していない全社費用△532百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない財務諸表提出会社の費用です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 4. 補足情報

## 事業別営業収益明細表

(単位：百万円)

事業別	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)		増減	
	営業収益	構成比	営業収益	構成比	金額	増減率
物流関連事業	(80,238)	(91.3)	(82,953)	(91.5)	(2,715)	(3.4)
貨物自動車運送事業 及び貨物利用運送事業	61,147	69.6	63,798	70.4	2,651	4.3
倉庫事業	14,575	16.6	15,143	16.7	567	3.9
港湾運送事業	4,515	5.1	4,011	4.4	△503	△11.2
情報処理事業	(1,763)	(2.0)	(2,009)	(2.2)	(246)	(14.0)
販売事業	(5,245)	(6.0)	(5,177)	(5.7)	(△68)	(△1.3)
その他	(595)	(0.7)	(555)	(0.6)	(△40)	(△6.8)
合計	87,843	100.0	90,695	100.0	2,852	3.2

(注) その他欄には、自動車修理業、ダイレクトメール業、その他事業の各収入を含めて表示しております。